

第1回交通WGの振り返り

第1回交通WGの振り返り(一部)

現状と課題等について

- 歩きづらい、狭い、危険、子育て世代が回遊しづらい等の声がある。
- 夕方近くは若い世代の自転車利用者や下校時の子供の歩行者が多かった。
- お店が前より少なく、住宅や中高層のマンションがたくさんあるという印象を受けた。
- 平日の朝の渋滞を避ければ、それほど渋滞はないと思う。
- 地域の皆さんが、バス・タクシーをどのようにしたいかという考えが分からない。
- 仙台市の関係計画との整合を確認してほしい。
- このエリアをどういう目的でどういった人が移動してるのかというデータを調べると見えてくるものがあるのではないか。

現状の補足
【資料2】

利活用WGについて

- どういった形を目指していくのかがないと交通WGでの課題が分からない。意見が言いづらい。
- 将来的にどういった街並みを目指すのかが大きいと思う。
- 空間をどのように歩きやすいまちにしたいのか、どのように楽しく感じるかという議論が必要。

第1回利活用
WGの報告
【資料3】

第1回交通WGの振り返り(一部)

今後の整備方針等について

- 今までの日本社会は車中心だが、今回は歩いて楽しい街並みづくりとして、子供たちや次の世代に対し、長町は良い街だという思い切ったものができればよい。
- 下町の魅力をもっとアピールできるような道路づくりをしたい。
- 歩道に横断防止柵があるが、横断場所がもっと欲しいという要望もあるので安全性との整合は気になる。
- 自転車がガードパイプの切れ目で車道と歩道を繰り返し出入りし、バスの運行上危険が生じていることもあり、安全なすみ分けができればよい。
- バスの利用を促すような社会実験が行われると非常にありがたい。
- タクシープールの移動など変更があれば検討課題となる。
- 路線バス利用者の負担を考えてほしい。
- 道路空間再構成は手段で、目的である賑わいを地域に運んでくるのは公共交通である。
- 長町の周辺地区を含めた地域の皆さんの意向を確認してほしい。
- 車線減少する際は、周辺交通も含めて幅広く影響をみななければいけない。
- 道路構造と交通は別の議論であり、道路構造より先に交通のあり方を考えるべき。